

シンボル・マーク



# M あ〜ろんど

“M あ〜ろんど” … “マロ”と“ロンド”（輪舞）— 歌声が輪になって回る、限りなく続く。マロ先生も一緒に  
なって……。ここに『MARO・コンサート』の輪も生まれ、和やかに心をつなぐ。

マロ・コンサート機関紙  
第29号  
2015-11-1 発行  
発行責任者  
● マミー・コール ●  
飯田・牧田

## 《履歴書風 自己紹介5》

### “周年記念” おめでとう 讚!!



「マロ・コンサート」 主宰

吉田 文彦

昨年度から今年度にかけて、『マロ・コンサート』の仲間のグループが、軒並み“周年記念”を迎え、それぞれに想い出に残るコンサート創りを計画・実施しています。昨年（2014）は、私自身の“合唱指揮活動60周年記念イベント”ということで、一緒に《MARO60》を楽しみました。

〈ヌオーヴァ女声合唱団〉（30年）を皮切りに、2015～2016年にかけて〈神奈川県庁合唱団〉（60年）、〈クール・ヴァン・ヴェール〉 & 〈クール・コメール〉（40年）、〈まほろば“煌”〉（20年）と目白押し——。【現在、指導していない〈茅ヶ崎青少年少女合唱団〉（40年）〈シャン・クール〉（40年）、〈アンサンブル・プリュサン〉（20年）も……】

そ・し・て・来年は！茅ヶ崎市立梅田小学校PTA〈マミー・コール〉が、なんとPTAのグループとしては珍しい、50周年を迎えます。今、思い出してみると……、特に40周年を迎えた団の創立時、【神奈川県合唱連盟 副理事長】に就任した、“小生——40歳”という働き盛りで、意欲満々だったんだなあ……と感慨も一入（ひとしお）です。

一番後発の〈のげとも童唱会〉も、今年結成10年目を迎え、「来年3月に、10回目の“記念コンサート”を開催するぞ〜！」と、みんな張り切っています。

～みんながって みんないい～ これは金子みすずさんの詩の一節ですが、ほんとうにいい仲間恵まれ、ずっと歩んでこられたこと——私はしあわせものです。正に、《うたがあるから みんながいるから》かな？

## トピックス

### ♪ “横混”さん、横浜文化賞受賞おめでとうございます ♪

～ 代表の金野さんから受賞のお礼とメッセージをいただきました。～

この度、横浜混声合唱団は平成27年度 横浜文化賞【文化・芸術部門】をいただくことになりました。贈呈式は11月13日（金）にみなとみらい小ホールで行われる予定で、林文字横浜市長より表彰状とトロフィーをいただけるとのことです。

今回の受賞は演奏団体および社会教育団体として、その活動が評価されたもので、横浜の合唱団としては3団体目という栄誉に与ります。

①戦前に設立した「横浜オラトリオ協会合唱団」②戦中の「横浜水曜会」そして③戦後の横浜混声合唱団

わたしたちは演奏団体として、団の諸先輩たちが築いてきた多くのものを受け継ぎ、さらに開拓と挑戦を続けてきました。（マロンコンサート30回、並行してクラシックコンサート14回、オフオフ合唱コンサート20回、三三七拍子合唱コンサート5回《全10回予定》を開催）

また、コンサートを開催するに当たっては、必ず「テーマ」と「コンサート主旨」を明確に打ち出し、目的に沿った企画・構成する中で、まず歌い手に興味と方向性を植え付けることから始まります。この動機付けが日々の練習に、そして歌うことに、合唱する喜びへと拡がる源となっています。



2015. 9. 27

写真提供 フォトサービス・ワン

これらが長年に亘り演奏活動を続けてこられた基であり、延いてはコンサートでの音楽表現にも大なる影響力をもつものと考えています。

一方、団規約に謳っている「社会教育団体」としては、「横浜市歌」「校歌」の録音やイベントの出演（五大都市体育大会選手団壮行会・成人式式典・伊勢佐木町歩行者天国路上ライブ・大通り公園完成記念コンサートなど）に積極的に協力してきました。

折りしも現在の「三三七拍子合唱コンサート」は「横浜音楽散歩」シリーズで行っている最中にあり、まさにタイムリーなうれしい受賞といえます。この受賞はこれまで団を支え、また応援していただいた多くの方々のお蔭と感謝しております。とりわけ指導者としての吉田先生は音楽監督としても熱い魂（こころ）を傾注し続けていることに敬服せざるを得ません。3年後には団創立70周年を迎え、記念コンサートもすでに組み込まれております。この賞をバネに更なる飛躍をこころに刻み歩んで行かねばと思っています。最後になりましたが、ヨココンは「マロ・コンサート」とともにあるのですから、この慶びを分かち合いこれからも協力して進んでまいりましょう！

また、受賞に対しまして、たくさんの方々より温かいお祝いのメッセージやメールを頂戴いたしました。紙面をお借りして御礼申し上げます。

横浜混声合唱団 代表 金野健一郎

#### 横浜文化賞

横浜市が、文化の向上及び発展に寄与することを目的とし、横浜市の芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興等の文化の発展に尽力しその功績が顕著な個人・団体に贈る賞

# ピアニスト・全員集まれ〜っ!!

## よもやまばなし 《ピアニストの会》四方山話

普段、“孤独な仕事人”のピアニストたち。

“群れを成す”——なあって考えられないのがピアニスト。

そ・れ・が・・・あれは11年前の『MARO 50』《2004年》のコンサートでした。Endingの曲、【Friends・Love・Believing～ぬくもりをありがとう】で、まんまと磨先生の魔法にかけられた私たちピアニスト6人は <pianoは金井先生>初めての体験で、歌手の仲間にさせられく? (AやらBやらの動き付き、しかも暗譜) たどたどしくも、大ホールの舞台上で歌うことと相成りました。また選りによって、磨先生のアレンジは、ピアニストのみで歌うフレーズがあり、当日の楽屋では、“ピアノを弾く”という重大な仕事以上に、みんなでその歌とステップの練習に て〜んやわんやの大騒ぎ。

今から思えば、その時の不思議な絆が“一緒にいるって楽しいね”に膨らんでいき、祝『MARO 50』の打ち上げ二次会の日以来、年一回のペースで、金井・須江・淵上・岩谷・金子・平林・宮の7人のピアニストは、美味しいお酒とお料理に舌鼓を打ち、時間を忘れるほど楽しい話に花を咲かせる——名付けて《ピアニストの会》を続けています。

たぶん、磨先生の素敵なお人柄と、あの時の魔法が、ホントは群れを成さない・わたしたちマロコン・ピアニストの結びつきをより強いものにしていただいている気がしています。磨先生、“縁-enishi”をほんとうに・どうもありがとう!!

そして、10年経った昨年『MARO 60』《2014年》のEnding、MARO先生作曲【山は海は ぼくたちは】では、くお酒・お料理・お喋り)に培われた7人の強〜い団結力に支えられ、ひとりひとり堂々と歌うことができたかな・・・と、密やかに自負しています。そう、またチャンスがあれば、“みんなで歌える”未来を ちょっぴり夢見つつ・・・

『《ピアニストの会》四方山話』も、そろそろ 時間となりました。御後が宜しいようで・・・ ピアニストを代表して。

《文責/R.M.》



## ● 共通のとびら ●

A. ピアニストになろうと思ったきっかけは?

B. コーラスの魅力は?

C. marò先生との出会いのきっかけは?

## ● 3題・選択していただく とびら ●

No 1. ピアノを始めたきっかけは?

No 2. ピアノを嫌いになったことはありますか?

No 3. 生まれ変わったら何になりたいですか?

No 4. 今の目標は何ですか?

No 5. 人生の分岐点はいつ、何が起きましたか?

No 6. 老後(引退後)の自分は何をしていると思いますか?

No 7. 舞台衣装はご自分のものですか?それともレンタルですか?

No 8. コンサート前に気をつけていらっしゃることは?

No 9. 普段はどんなジャンルの音楽をお聞きになりますか?

No 10. 担当している団の特徴に合わせた伴奏をされているかとは思いますが、その時に気をつけていらっしゃることはありますか?

FROM  
マミー・コール

おしえて!先生

私たちの合唱を支えてくださっている  
マロ・コンソートのピアニストの先生方に  
マミー部員が、ぜひお聞きしてみたかった

3(必須)+10(選択)の扉

10



## 金子 雅代 (かねこ まさよ) 先生

- A 何でしょう…?ただソロにしる、アンサンブルにしる、音の追求や音楽を構築していくのは好きなので、学生時代はいろんなイベントに首を突っ込んでいました。  
(ソロコン、伴奏、ピアノトリオ、果てはインストゥルメンタルのバンドまで!)そのままの成り行きで・・・でしょうか?
- B ハーモニー!アンサンブル!自分のちっぽけな声がコーラスで倍増されて、しかも想像を超えた世界を体感できるのは、歌った人にしかわからない魅力です。
- C 前任のピアニストが体調を崩して、公私ともに仲良くしていたので、ピンチヒッターで引き継ぎました。いろいろと先生のお話を伺っていたので、大緊張で初めてお目にかかったことを、今でもよく覚えています。

No.1 幼稚園の音楽教室。両親ともに音楽が好きだったので、気軽に申し込んだようです。のみこみが悪い私に手を焼いたようです。

No.2 数えきれないほどあります。苦しくて辛くて、重荷だったり。でも、救われたこともたくさんあるので、やっぱり好きなんです。

No.7 自前です。コンサートに向けて曲調や雰囲気固まってから何を着ようか考えます。早くに思いついても、急きょ変更したり、納得いくドレスが思いつかず慌てたり…。

金子 雅代

## 平林 留貴子 (ひらばやし るきこ) 先生

- A きっかけ、何でしょう。音大を出て、気づいたら…。
- B いろいろな人のいろいろな声一つになって、各々の団のカラーが出るところでしょうか。
- C 実は私、横浜混声のピアニストを1年間だけしていたことがあります。横混創立40周年ヴィヴァルディ宗教合唱作品リサイタルの時に。高校の大先輩の土居先生が推薦してくださり、吉田先生にお会いしました。

No.2 子どもの頃、練習は嫌でした。中学生の時ピアノをやめてしまったことがあります。

No.5 ピアノをやめていた中学生の時、合唱部で楽しく歌っていたのですが、顧問の先生にピアノを続けなさいと言っていたら、それからピアノを弾き続けています。

No.9 車の中ではJ-ポップスやK-ポップス、家では最近、古き良き時代のジャズを聴きながら、家事をすることがマイブームです。

平林 留貴子

## 宮 怜子 (みや れいこ) 先生

- A ピアニストになろうと思ったことはありませんでした。自然な流れだったのかな?今は楽しいです。
- B 声が楽器で、ハーモニーを作っていくプロセス(アンサンブル)がいつでも、どこでも、そして、誰とでもすぐ!できるところでしょうか。
- C クール・ヴァン・ヴェールの前ピアニストがご都合でできなくなるということで、その先生のお母様から頼まれて、鷹先生の合唱団に弾きに行くことになりました。その頃、先生は40代でいらしたのですが、はじめてお名前だけを聞いた時には「ヨ・シ・ダ・コウ・コ・マロ??」正直、ずいぶんとお歳を召された先生かと思いました。

No.2 ピアノがキライではなく、練習がキライでした。おけいこをサボり、お月謝だけ先生のおうちのポストに入れて、その月謝を先生がうちに返しにいらして、練習に行っていないことが発覚しました。本当は、その先生が苦手だったのです。

No.8 楽譜の確認。音楽の中身というよりは、譜めくりのページがスムーズにいくか?とか  
空調などで楽譜がパラパラ飛ばないか・・・とか。

No.9 運転中と朝のストレッチの時に、『ESCOLTA』の曲をよく聴きます。一番リラックスできるから…。

宮 怜子

## 金井 信 (かない まこと) 先生

- A 慶応の哲学科とダブルスクールで尚美の作曲科にいた頃、声楽科の学生の伴奏を沢山経験しました。そして、周りのピアノ科の学生が皆、伴奏が意外と下手だとわかり、自分はこれで生きられるかも、と自信を得たのがキッカケかな。
- B やはり1人ではできないことが、おおぜいなら達成できる喜びでしょうか。
- C まず宮怜子さんが私の伴奏をFMで聴いて気に入っていただいた前史があり、その後ひよんなご縁で、今度は、生の僕の演奏を直接聞いて頂き、これはやっぱりステキ!と吉田先生に紹介されたそう。

No.2 ピアノ嫌いになったことはありません。ただレッスンに行くと、ハノンやツェルニーを弾くのは退屈だし、練習がきらいだったので、毎週きちんと通うレッスンは苦痛でした。自由にビートルズや映画音楽を弾いたり、妹とハモリながらフィンガー5やキャンディーズの伴奏をするのが楽しかった。

No.5 その① 慶応大学に通いながら、19歳で尚美のピアノ科に独学で入学してしまったこと。  
その② 23歳で芸大声楽科に受かってしまったこと。

No.8 当たり前のことですが、ズボラな私なので忘れ物をしないこと。楽譜、衣装、靴、メガネ(楽譜を読むために、50cm前だけが良く見えるもの)、携帯電話、ヒゲそり、スティックのり、セロテープ、販売するCD、配るチラシetc

金井 信

## 岩谷 尚幸(いわたに なおゆき)先生



- A 高校生のときに紹介して頂いた恩師のおかげで、音楽大学に入学することが出来た時。  
 B 少ないコストで音楽の大切な3つ「音程」「リズム」「ハーモニー」を体感出来ます。  
 C 幼い頃からのピアノの先生(ヴァン・ヴェール/小鴨様)に紹介して頂きました。  
 当時は卒業後、古本屋でアルバイトをしておりました。
- No.1 小学生になる前でしたが、母にやってみないか?と云われたので。  
 幼いときはあまり否定する感情がなかったのでしょうか。(笑)
- No.5 普通高校に入学してまもなく入院する不運に逢いましたが、それをきっかけに先生に出会えたり、  
 ピアノの勉強を本格的に出来ました。
- No.9 独奏する古典派の珍しいピアノ曲のCDは沢山ありますが、最近はあまり聴かないです。  
 アイドルの公演曲や八神順子さんの歌を気晴らしに聴くこともあります。

*N. Iwatani*

## 須江 太郎(すえ たろう)先生

- A 今までピアニストになろうと思ったことはありません。成り行き?と、たくさんの方との出会いの中で  
 徐々にピアノを弾かせていただく機会が増えていきました。
- B 何といってもハーモニー! 人の声の美しい響きほど素敵なものはないと思います。
- C 私の知人が、吉田先生の指導されていた合唱団のピアニストをしていて、  
 彼女の都合が悪くなったときに、その代役をしたのが出会い。
- No.2 ピアノを嫌いになったことは一度もありません。でも、練習やレッスンは嫌いでした!(笑)
- No.4 なるべくいつまでも、最後の時まで元気であること。  
 そして、一回でも多く音楽の素晴らしさを伝えることが出来たらと思います。
- No.8 身体が動く限り、引退はありません。といいますが、  
 その日暮らしの私は働かない訳にはいかないのです!(涙)

須江太郎

## 瀧上 千里(ふちがみ ちさと)先生

- A 小学校の頃に友達が弾いていた「乙女の祈り」が綺麗で、そこからピアノが好きになり~ いつしか~です。  
 B 個人の集まりが同じ方向で一生涯懸命努力して創り上げていき、一人だけでは味わえない素晴らしい達成感を持てる所。  
 C ある時、突然、お電話頂いてです。
- No.2 やはり子供のころ、練習するのが嫌だし、先生の所に行くのも面倒くさいとか思ってしまった~。
- No.7 舞台衣装は自前です。
- No.9 やはりクラシックが多くなってしまいましたが、ポップス、演歌等その時の気分色々です。

瀧上千里

## 《マロ・コンサート》ステージスケジュール

### <11月>

- 3日(火・祝)◆第49回茅ヶ崎市民文化祭  
 『合唱のつどい』  
 茅ヶ崎市民文化会館大ホール12:15~18:30  
 【クール・コメール】参加  
 【アンサンブル・プラムベリー】参加  
 【マミー・コール】参加
- 23日(月・祝)◆青少年会館フェスタ  
 茅ヶ崎青少年会館ホール  
 【マミー・コール】参加
- 24日(火)◆創立60周年記念  
 『第40回記念サロンコンサート』  
 神奈川県立音楽堂 19:00~  
 【神奈川県庁合唱団】公演
- 29日(日)◆第23回横浜中区合唱祭 開港記念館  
 【クール・ヴァン・ヴェール】参加  
 【のげとも童唱会】参加  
 【横浜混声合唱団】参加

### <12月>

- 10日(木)◆第13回ポップス・コーラス・コンサート  
 『ポップス・キラキラ』  
 みなとみらい小ホール18:30~  
 【アンサンブル・プラムベリー】公演
- 21日(月)◆ランチコンサート  
 横浜金沢区役所  
 【洋光台混声合唱団】参加
- 24日(木)◆第20回(プレ)創立50周年記念  
 『かあさんと こんさあと』  
 茅ヶ崎青少年会館ホール15:00~  
 【マミー・コール】公演

### 2016

### <1月>

- (横浜音楽文化協会)  
 15日(金)◆第28回 ヨコハマ・ワークナー祭  
 みなとみらい小ホール18:30~  
 吉田・須江 出演【横浜混声合唱団】  
 (チケット ¥3,000)

### <2月>

- 14日(日)◆第36回 ヨコハマ・コーラルフェスト  
 みなとみらい大ホール  
 【横浜混声合唱団】参加  
 【神奈川県庁合唱団】参加  
 【ヌオーヴァ女声合唱団】参加
- 28日(日)◆第14回横浜西区民合唱祭  
 神奈川県立音楽堂  
 【まほろば 煌】参加

### <3月>

- 2日(水)◆6年生を送る会  
 茅ヶ崎市立梅田小学校体育館  
 【マミー・コール】参加
- 13日(日)◆第10回記念井戸端交流コンサート  
 中区野毛地区センター集会所13:00~  
 【のげとも童唱会】公演
- 21日(月・祝)◆40周年記念 第18回 コンサートf  
 茅ヶ崎市民文化会館小ホール 13:30~  
 【クール・コメール】公演

### ~トピックス~その② ♪ おめでとうございます ♪

またまた、マロ・コンサートの仲間たちの  
 “うれしいニュース”が飛び込んできました!!  
 藤沢市合唱連盟副理事長をなさっている、  
 県庁合唱団の上杉明さんが「藤沢市教育文化貢献者賞」を  
 受賞されることになりました。  
 表彰式は11月3日(文化の日)に行われます。



### ~編・集・後・記~

今回は、ピアニストの先生方に、マミー・コール部員からの  
 たくさんの質問にお答えいただき、私たちが知らない世界を  
 ちょっぴりのぞかせていただけたことは、遠い遠い  
 存在だった先生方を、ほんの少しだけ身近に  
 感じる事ができた瞬間でした。  
 心から、7人の先生方、ご協力ありがとうございました。